

ラジオ関西「医療知ろう！」 支部評議員の先生が出演

市民に医療情報を発信



左から佐々木徹先生、江原重幸先生、木村彰宏先生

ラジオ関西番組「寺谷一紀と！ い・しょく・じゅう」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に神戸支部から、木村 彰宏評議員（長田区）、江原 重幸評議員（長田区）、佐々木 徹評議員（垂水区）が出演した。

木村先生は12月29日に出演。「小児アレルギー」をテーマに、アレルギーを発見することが難しい場合があり、判断を誤ってしまうと重篤化することもあるなど子どもの食物アレルギー問題について説明した。

江原先生は1月5日、「糖尿病について」分か

りやすく解説。日本人の場合、糖尿病の原因の中心は食生活にあり、「間食」をやめたりするなどの食生活改善が糖尿病予防につながることを説明した。

佐々木先生は1月12日、「海外の憲法事情」をテーマとして、日本でも憲法改正の議論が活発に行われている中で、海外の憲法の成り立ちなどを説明した。

※当日の様子は、番組ブログや協会ホームページ<http://www.hhk.jp/topics/2016/1003-09000>0.phpからもご覧いただけます。

「神戸市の国民健康保険料引き下げ、市独自の軽減制度の継続を求める」

2月末まで！ ひきつづき署名にご協力をお願いします。

神戸支部では昨年からの国民健康保険料の引き下げを求める署名に取り組んでおり、現在**670**筆が集まっています。取り組みは2月までで、集まった署名は神戸市に提出します。今年の2月末までに1筆でも多くの署名を集め、神戸市に届けたいと考えております。ぜひひきつづきのご協力をよろしくお願いいたします。

署名の追加注文は、078-393-1807 まで



署名用紙

兵庫県保険医協会

297号 2017年1月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

2017年 新年のご挨拶

神戸支部長 田中 孝明



神戸支部の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は神戸支部活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年もアベノミクスによる「トリクルダウン」は起こらず、格差と貧困は拡大し、日本社会の危機はさらに深刻となっています。社会保障の予算は5年間で3兆4000億円も削減されました。社会保障費を抑制し、自助・自立による自己負担を増やす政策では、格差と貧困はますます拡大し、日本国民に富と安寧をもたらしません。社会保障の充実によって国民の生活が豊かになるような政策へと舵を切ることが求められています。

神戸支部では、昨年からの国民健康保険料の引き下げを求める署名を集めています。これは協会も参加する社会保障推進協議会を中心に行っており、神戸市の国保料引き下げ、独自軽減制度継続を求めるものです。高すぎる国保料が払えないと多くの患者さんが苦しんでいますが、神戸市はこの

保険料をさらに引き上げようとしています。現在670筆の署名が集まっていますが、今年の2月末までに1筆でも多くの署名を集め、神戸市に届けたいと考えております。ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

今年は酉年です。鳥のように希望に向かって飛び立てるよう、保険医協会は皆さまを応援します。今年もよろしくお願いいたします。



医科・歯科連携研究会 感想文 医師・歯科医師53人が参加

糖尿病治療薬の適切な組み合わせとは



講師を務めた岡田裕子先生



内服薬だけでなく、インスリン製剤や機器類まで、最新の糖尿病について学ぶ

神戸支部は12月3日、協会会議室で医科歯科連携研究会を開催した。神戸大学糖尿病・内分泌内科特定助教の岡田裕子先生が「新時代の糖尿病治療薬～糖尿病治療薬をどう選択し、どう組み合わせるのか～」をテーマに講演し、医師・歯科医師や薬剤師ら53人が参加した。木村香苗薬剤師の感想を紹介する。

処方箋にて先生のお名前は存じ上げておりましたので、今回はライブ会場へ足を運ぶようなわくわくした心持ちで参加しました。

調査によりますと、日本は世界における糖尿病人口ランキングで上昇しているとのことで、かつて空腹時血糖は140mg/dℓ以上を基準としていましたが、主に心疾患の予防のため126に下げられたため、患者さまの数が急増したというようなことを耳にしたのですが、そのことについての見解をまたの機会にお聞かせ願えれば幸いです。

こういった講演ですと、大抵内服薬のみの内容となる場合が多いのですが、インスリン製剤や機器類まで幅広く解説していただけたので調剤薬局の薬剤師としては大変勉強になりました。

2型糖尿病は自覚症状なく進行していく故、アドヒアランス不良に繋がっていきがちです。ダイエットにおいても毎日体重を測定し、記録するだけで一定の効果が得られるのですから血糖値を日々リアルタイムで見られれば、それだけでかなりの効果が期待できるのではないのでしょうか。

本日のまとめで薬の選択と組み合わせは確立されてきている段階であるということが分かりました。その治療効果も患者さま自身が実感できるよう「Flash Glucose Monitoring（先進的血糖測定技術）」との併用の一早い実用化が望まれるところです。願わくは保険適用の方向で。

【長田区・サエラ薬局神戸長田店
薬剤師 木村 香苗】

阪神・淡路大震災メモリアルウォーク

22年目の長田のまちを歩く



商店街の店主から、22年前の震災時の思い出を聞く。地域活性化のため、大型スーパーではなく商店街で買い物をと強い訴えがあった

協会神戸支部も参加する震災復興長田の会は、阪神・淡路大震災22年となる1月17日、長田区内でメモリアル企画「長田のつどい 22年目ひと、まち、くらし」を開催した。住民や熊本・東北からの参加者など110人が、22年前焼け野原になった新長田駅周辺を歩いた。

長田の町は、再開発により立派なテナントビルが建設されているが、人口は減少し続け、にぎわいは戻っていない。参加者は、大正筋商店街や鉄人広場などを訪れ、鉄人プロジェクトなどのまちおこしの取り組みが続けられていることを学んだ。

ウォークの後には、借上復興住宅弁護団や原

発事故被災者支援兵庫弁護団として活躍している大田悠記弁護士が、「震災と人権」をテーマとして講演。長年、住み続けてきた環境から高齢の入居者が転居することは、コミュニティの喪失、健康リスクといった問題を生み出すとし、他自治体が入居継続を認める中、神戸市や西宮市が退去を強要することは問題であると批判。被災者が自立できるまで一人ひとりを支援することは、憲法の「個人の尊重」原則からも、当然求められると強調した。

他にも、熊本市、仙台市からの参加者が、熊本地震・東日本大震災被災地の現状について報告し、活発な意見交換が行われた。

保険請求事務講習会

日時 3月18日（土）15時～18時

19日（日）10時～15時

会場 協会5階会議室

参加費 8,000円

（テキスト・資料代、2日目の昼食代含む）

（プログラム）

〈1日目〉15時～18時

※保険診療とは、窓口業務、点数の解説、薬剤料の計算など

〈2日目〉10時～15時

※診療報酬請求の実務、レセプト作成実習と解説

お申し込み、お問い合わせは、電話078—393—1803 研究部まで